

展覧会名

クラフツマンの表現

会 期

2019年11月2日(土) - 2020年3月2日(月)

会 場

 山梨ジュエリーミュージアム
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)

料 金

無 料

お問合せ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

山梨の宝飾産業は、かつて山梨県北部の金峰山一帯から水晶が産出され、そして江戸時代に水晶加工の技術が伝播したことにより水晶工芸が盛んになったことからはじまります。やがて研磨の技術が貴金属加工(銑り)と結びつきジュエリーの一大産地として発展してきました。

その一方で、伝統工芸として受け継がれてきた水晶彫刻の技術もまた、ジュエリーを制作するうえでの大きな役割を担っています。彫刻を施されたジュエリーを想像する時、思い浮かぶものはどのような作品でしょうか?花や生き物をかたどった指輪やネックレス、紋様をインタリオ(沈み彫り)で表現したブローチなど、作品の表現は多岐にわたり、いずれにも繊細な手しごとを垣間見ることができます。

本展では水晶彫刻の技術に焦点を当て、ジュエリーの中に水晶彫刻の技術の一端をうかがうことのできる作品を紹介します。

宝飾産業を支えてきた宝石の研磨と彫刻は、いずれも貴石を加工する技術ではあるものの、それぞれが独立した領域です。しかしその境界を軽やかに飛び越え、あるいは行き来してジュエリーを制作するクラフツマン(職人)が山梨には存在します。宝石を加工する高度な技術を駆使し、ジュエリーそのものの幅を広げ、新たな領域を開拓するクラフツマンの新鮮な仕事をご覧ください。

主な展示作品



1 リング〈Crystal Dome〉
 デザイン&制作：
 貴石彫刻オオヨリ 大寄智彦



2 リング〈Wedding Message Ring〉
 デザイン：小林唯
 制作：株式会社シンク



3 リング〈Lotus Ring〉
 デザイン：米山美香
 制作：河野水晶美術 河野道一
 ジュエリーアートケアル 久保寺今朝之



4 リング〈source〉
 デザイン&制作：
 詮問宝石彫刻 詮問康二

同時開催

「イメージが形になるまで Vol.3」 2019年11月2日(土)–12月2日(月)

主催：ジュエリーデザイナーズクラブ山梨

デザイン画をメインに展示し、仕事部屋や愛用の道具など、デザインが生まれる場にスポットをあてて紹介します。

「山梨の水晶と眼鏡」 2019年12月7日(土)–2020年2月17日(月)

山梨では明治初期から昭和初期まで、水晶の眼鏡レンズが製作されていました。現在では貴重な水晶の眼鏡の数々を、歴史的資料とともにご覧ください。

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】 プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等を行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。